



2022年5月24日

各 位

会 社 名 アイサンテクノロジー株式会社  
代表者名 代表取締役社長 加藤 淳  
( 東証スタンダード コード：4667 )  
問合せ先 取締役経営管理本部長 曾我 泰典  
( Tel 052-950-7500 )

**KDDI スマートドローンとアイサンテクノロジー、目視外飛行可能な  
ドローンレーザー測量サービス開発について、基本合意書を締結**  
～両社の通信と測量のノウハウを組み合わせ、ドローンの新たな測量サービスを創造～

アイサンテクノロジー株式会社（本社：愛知県名古屋市中区、代表取締役社長：加藤 淳）と、KDDI スマートドローン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：博野 雅文）は、モバイル通信を活用し、広域を効率的に測量できるドローンレーザー測量サービスを共同開発することについて、基本合意書を締結しましたのでお知らせします。

詳細につきましては別紙をご覧ください。

以上

2022年5月24日

<報道発表資料>

KDDI スマートドローン株式会社  
アイサンテクノロジー株式会社

## KDDI スマートドローンとアイサンテクノロジー、目視外飛行可能な ドローンレーザー測量サービスの共同開発について、基本合意書を締結

～両社の通信と測量のノウハウを組み合わせ、ドローンの新たな測量サービスを創造～

KDDI スマートドローン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：博野 雅文、以下 KDDI スマートドローン）と、アイサンテクノロジー株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：加藤 淳、以下 アイサンテクノロジー）は、モバイル通信を活用し、広域を効率的に測量できるドローンレーザー測量サービスを共同開発すること（以下 本事業）について、基本合意書を締結しました（以下 本提携）。

2022年12月の法施行が予定されている「有人地帯における補助者なし目視外飛行（レベル4飛行）」の解禁で、物流やインフラ点検、災害時の監視などさまざまなシーンでドローンの目視外飛行の加速が期待されています。

本事業で開発する目視外飛行可能なドローンレーザー測量は、広域の土量調査や、起伏の激しい山間部における土砂災害状況の確認作業などを、1度のフライトで効率化し、コストや時間の削減に期待できます。また、目視外飛行の補助者削減による運用コストの低減に期待できます。

本提携では、KDDI スマートドローンが提供するドローン遠隔自律飛行のための「スマートドローンツールズ」(注) と、アイサンテクノロジーが提供する測量解析技術を組み合わせ、ドローンレーザー測量サービスをはじめとするドローン測量ビジネスを創出していきます。

また、2022年5月25日～27日に幕張メッセで開催される CSPI-EXPO2022 のアイサンテクノロジーブース (B-61) にて、目視外飛行によるレーザー測量を実現するモバイル通信対応の DJI 社製「Matrice 300 RTK」および「レーザースカナ Zenmuse L1」を展示します。



【LTE 対応 Matrice 300 RTK】



【目視外飛行によるレーザー測量データ】

(注) スマートドローンツールズ:モバイル通信や運航管理システム、クラウドなど、ドローンの遠隔自律飛行に必要なツールを揃えたパッケージです。詳細は[ホームページ \(https://kddi.smartdrone.co.jp/tools/\)](https://kddi.smartdrone.co.jp/tools/) をご参照ください。

以上